

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-136	15-096	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)		
<p>The natural history of cardiovascular risk factors in health professionals: 20-year follow-up.          医療従事者における心血管病リスク因子の 20 年追跡</p>		
執筆者		
Jardim TV, Sousa AL, Povoia TI, <i>et al.</i>		
掲載誌		
BMC Public Health. 2015 Nov 11; 15: 1111. doi: 10.1186/s12889-015-2477-8.		
キーワード		PMID
若年医療従事者、心血管病、過体重、高血圧、高コレステロール血症		26558824
要 旨		
<p><b>目的:</b> 若年の医療従事者において、心血管病リスク因子の 20 年経過を調査すること。</p> <p><b>方法:</b> 対象は先天性心疾患および1型糖尿病を有しない医療系大学生 281 名 (女性 62.9%、平均年齢 19.7 歳)。ベースライン (1993 年の卒後研修開始時) および、20 年後の 2 時点で調査を実施。身体測定により身長、体重、body mass index (BMI)、随時血圧を、空腹時採血により血糖・総コレステロールを、質問紙により心血管病既往、喫煙 (喫煙/非喫煙)・飲酒習慣 (飲酒/非飲酒)、運動習慣 (座りがち・非定期的に運動/定期的に運動) に関して調査。</p> <p><b>結果:</b> 20 年後調査に参加した対象者は 215 名 (女性 59.1%、平均年齢 39.8 歳)。20 年後の随時血圧 (111.6/71.0 ⇒ 118.7/77.1 mmHg)、空腹時総コレステロール (150.1 ⇒ 182.4 mg/dL)、空腹時血糖 (74.3 ⇒ 81.4 mg/dL)、BMI (20.7 ⇒ 23.7 kg/m<sup>2</sup>) いずれもベースライン時より有意に高値。座りがちな習慣の割合は低下がみられたが、高血圧 (140/90 mmHg 以上または受療中)、過体重 (BMI 25 以上)、高コレステロール血症 (200 mg/dL 以上または受療中)、および飲酒習慣者の割合は上昇した。喫煙習慣者の割合は有意な変化をみとめなかった。</p> <p><b>結論:</b> 若年医療従事者において 20 年後の随時血圧、BMI、空腹時血糖・総コレステロールの有意な上昇がみられた。心血管病リスク因子である高血圧、過体重、高コレステロール血症、および飲酒習慣を有する者の割合も有意に上昇した。</p>		